

おおみそこみそつしん



活動概要

大溝の水辺景観まちづくり協議会では、総門が観光案内だけでなく、必要な人・情報につながる「関係案内所」(愛称 potopoto) となれるよう、移住促進を目的とした活動を始めています。
(高島市との協働提案事業として実施しています)

愛農かまどづくり

高島市への移住を希望する家族と、先に移住して地域で活動する家族とで、移住にまつわるあれこれを話しながら、「愛農かまど」をつくるという移住促進イベントを行いました。

「愛農かまど」とは、戦後すぐ、まだかまどを使った生活が主だった頃、1950年代に「全国愛農会」の農村生活改善運動の一環として全国に広められたかまどで、少ない薪で上手に煮炊き炊飯のできる、とても燃焼効率の良いかまどのこと。

この「愛農かまど」を、高島びれっじの近くのお店「白湖（はこ）」(高島市勝野)の中庭につくるという計画があり、今回の移住促進イベントの舞台とさせていただきました。

先輩移住者として、「白湖（はこ）」を運営する上田さん夫妻と、農家民宿「SPACE まある」(高島市音羽)を運営する真栄田さん家族が、移住希望のNさん夫妻の「高島市に移住してみよう?」「どんな風に生活してる?」といった、いろいろな質問に答えながら一緒に作業し、とても和やかな交流会となりました。

Nさん夫妻は、実際に移住した方と話をすることで、移住前の不安な気持ちが解消され、移住に対してより前向きになられたようです。高島市の移住定住推進室の職員の方には、早速住まいの相談などもされていました。

事務局コメント

一緒にものづくりすることで、皆、心もオープンになり、一体感が生まれるのを感じました。こうした交流をきっかけに、高島への移住計画がより安心なものになると嬉しいです。
☆コロナ対策(マスク着用、ソーシャルディスタンス)に配慮して実施しました。

今年もコロナ渦が続き、9月末までは総門も臨時休館を余儀なくされていましたが。約1年半前に南側にお庭が完成したときは、「地域の人たちが集う場所として活用していきたい」と、
昨年、ささやかながら感染症対策に十分気をつけてお庭のお披露目会を実施することができました。

総門は、大溝地域の歴史的シンボルだと感じています。そんな総門のお庭を、地域の人たちが気軽に立ち寄れて、日々交流できるような場所にしていきたい…。という想いがあります。

気軽にイベント実施ができる状況ではありませんが、湧水・山水のどちらも引き込んでいる総門で、地域のみなさまと一緒にお庭を活用し、大溝で育つ子どもたちの水文化に触れるきっかけになれば嬉しいです。



地域で使うみんなのお庭

01
使い方

お弁当をお庭で

総門のお庭で、お弁当を食べてみませんか？

いつもと違ったお昼ご飯で遠足気分♪

見上げてごらん 夜の星を

秋の夜長、お散歩がてらお庭で星の観察をして季節の星を探してみよう。

02
使い方

大溝の水辺景観

2020年に完成した総門のお庭。日本遺産となった大溝の水辺景観で、湧水と山水が楽しめます。

活動情報

オンライントリップ

近鉄百貨店草津と オンライン中継

10月9日・10日の2日間、滋賀県観光推進室主催のオンライン観光PRに挑戦しました。水辺ガイドの方にご協力いただき、オンラインで地域の魅力を近鉄百貨店草津のお客様へ発信し、この地域のまちなみや文化を紹介させていただきました。

編集後記

大溝地域で働くようになってから、歴史に興味を持つようになりました。地域の方がたくさん本を貸してくださるので、少しずつ読んで勉強しています。おおみぞこみぞつうしんの13号は秋のお月見をイメージして制作しました。



いのうえしょうこ
井上 祥子

発行：大溝の水辺景観まちづくり協議会



0740-36-2011
(10時～17時・水木休館)

水辺さんぽ

検索